

○事業所名	伊東市立さくら園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりを常に心がけています。	ヒヤリハットを職員会議で出し合い、危険な箇所はないか確認しています。	施設の構造上、生活動線が悪いと感じる部分もあるので、子どもたちの動きに合わせて、過ごしやすい環境にその都度替えて生活しています。
2	個別支援計画をもとに、日々のプログラムの中で、個々に合った支援をしながらたくさん経験ができるようにしています。	毎月の予定を作成し、季節や行事に合わせた活動を取り入れ、それをもとに個々の発達にそって無理なく参加できる方法で経験していきます。	じっくり取り組む活動・身体を思い切り動かす活動・みんなでやることの楽しさを味わう活動などを取り入れ、話し合いながら支援のズレのないよう個々に合った支援をしています。
3	隣接する富士見保育園と一年通して交流を持ち、一緒に遊んだり、行事に参加しています。	自由あそびや行事・集会に参加し、いろいろな人とのかかわりを広げる機会を多く持ちます。	富士見保育園の月当番や年齢ごとの落ち合わせに参加させてもらい、無理なく交流できるよう話し合います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちの活動スペースの確保の難しさ	パーティションで仕切り、生活と遊びのスペースを分け、次の活動への切り替えがスムーズにできるようにしています。	ワンフロアを半分仕切っているため、狭い中での大声や動きで落ち着かなくなってしまうこともあるので、静かに過ごせる空間づくりを考えています。
2	施設の老朽化	老朽化に伴い、危険な箇所が多く定期的に確認し、修繕しながら、子どもたちが安心して過ごせる場所を作っていきます。	天井が高く明るいのですが、冷暖房の効率が悪いので、部屋の使い方の工夫が季節ごとに変わっていくため、その都度改善しています。
3	保護者向けの研修や交流機会の少なさ	月に一度程度の割合で、保護者の参加行事を計画していますが、子どもの病院やリハビリ・仕事の予定もあるため、それ以上増やさず、その中で研修や父母会などを行っています	保護者の要望を伺いながら、行事などを検討していきたいです